



平成27年度 消費生活の安定及び向上に向けた県民提案事業

鎌ヶ谷市消費者行政活性化シンポジウム

知って、伝えて、悪質商法を撃退！！

～あなたの家族もねらわれているかも～

平成28年1月24日(日)鎌ヶ谷市総合福祉センター 大会議室



寒かった1月最後の日曜日、消費者ネットちばの27年度最大の事業、鎌ヶ谷市消費者行政活性化シンポジウム「知って、伝えて、悪質商法を撃退！！あなたの家族もねらわれているかも」を開催しました。



丸山代表幹事は開会あいさつで、シンポジウムの為に夏から鎌ヶ谷市内の10の市民団体と鎌ヶ谷市高齢者も守り事業に参加する事業者の皆さんとで実行委員会をつくる準備を重ねてきた。市民まつり、産業まつりにいらした市民の方や実行委員会の参加団体を通じて1000人以上の市民の皆さんに消費者被害に関するアンケートに回答頂いたと話されました。



基調報告

「消費者被害をめぐる現状と報告について」・・・拝師事務局長

消費者被害額は6.7兆円、社会の高齢化が理由だけでなく

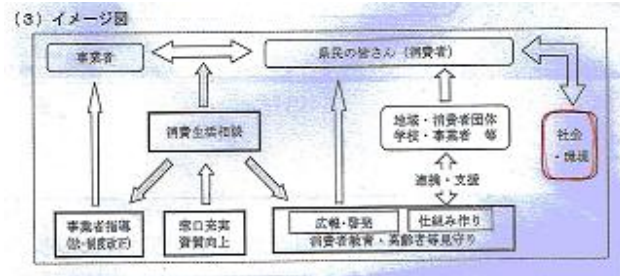
くお年寄りが狙われる傾向が顕著。消費生活センターには消費者

被害の情報が集まる。集まった情報を市民フィードバックする。しかし、消費生活センターを利用しているのは被害にあった人のうち3%程度。消費者被害を鎌ヶ谷市から撃退するためには、消費生活センターをみんなで活用し、幅広い層への消費者教育・消費者啓発を行い、さまざまな団体が連携すること。連携の要となるための人材育成が必要。地域の連携の為に「消費者安全確保地域協議会」の制度が4月からスタート。今回の進歩が関連団体の意識向上と人材育成と地域連携のきっかけとなれば。



千葉県の消費者行政について

千葉県環境生活部生活安全課消費者安全推進室・・・新村理 室長



県の取り組み、市町村支援について、消費生活相談の内容、事業者指導の状況など。



鎌ヶ谷市の消費者行政について

鎌ヶ谷市市民生活部商工振興課・・・葛山順一 課長

平成23年度に消費生活センター設置、23年度の相談件数は325件、26年度には426件と相談件数は大幅増。

消費者啓発にも力をいれている。センター便りの発行も。

鎌ヶ谷市消費生活センター小柴久子相談員より、市内での相談事例について報告。



鎌ヶ谷市消費者被害アンケートの結果について

消費者行政充実ネットちば・・・石川浩一郎 幹事

多数の方々にアンケートに答えて頂き感謝。回答数1076件！

- ・消費生活センターを知らない・・・52%
- ・訪問販売・電話勧誘販売を受けたことがある・・・61%
- ・訪問販売・電話勧誘販売を受けて買う気がないのに購入してしまった・・・11%
(11%はけして見逃せない数字)
- ・被害にあったことを相談した・・・31%、していない69%
- ・消費生活センターに相談した・・・5%
- ・相談しなかった理由・・・相談先がわからない知られたくない・自分も悪い15%





コーディネーター 消費者行政充実ネットちば幹事 日野勝吾
 パネリスト 鎌ヶ谷市民生児童委員協議会副会長 高柳 武平
 鎌ヶ谷市西部地域包括支援センター 矢戸 孝紀
 鎌ヶ谷市教育委員会学校教育課 飯塚 博文
 鎌ヶ谷市消費生活相談員 柿沼 由佳
 鎌ヶ谷くらしの安全を考える会 指旗 和子



日野「鎌ヶ谷市消費生活センターを知らない、相談先として選んでいない。というアンケート結果を踏まえて地域連携について考えていきたい」

高柳「全国的に民生児童委員のなり手がおらず不足している。福祉分野への対応が多く、悪質商法被害の実感はないが、だからといって被害がないということではないのだと思った」

矢戸「ヘルパー、ケアマネージャー、介護事業者が高齢者の様子に異変を感じて地域包括センターにつなぐ例がある。本人を訪問して話を聞き適切などころにつないでいくことが必要」

飯塚「情報化社会の中で子供たちに正しい知識と伝える場が必要、教育界と消費生活センター、行政との連携が必要だ。」

柿沼「アンケートの結果を見て身を引き締めた。消費生活センターではあっせん、啓発活動をおこなっている、センターに相談し情報を寄せてほしい」

指旗「昭和56年市の呼びかけで消費者の会として発足し35年、消費生活センターが設置された平成23年に家族の介護などで活動が難しくなる会員や自分自身の体調不良などで解散したが、なかなか消費者問題に取り組む人がでなかったこともあり、くらしの安全を考える会として活動している。センター便りの全戸配布の要望を受け入れてくれたこと、このシンポジウムを開催したことで市の消費者行政には期待をもっている。あとはサポーターの養成。私たちが勉強することで自分たちが悪質商法に引っかからないようになったし、知人から相談をうけることもあった。是非地域のなかで活躍するサポーターの養成をして欲しい。センターの場所をもっと皆が利用しやすい所に」

鎌ヶ谷市高齢者見守り事業 協力事業者の皆さんから、見守り活動の内容について会場発言。



布亀株式会社
 生活協同組合パルシステム千葉
 生活協同組合コープみらい



提言発表 清水市長へ、鎌ヶ谷市社会福祉協議会会長・シンポジウム実行委員長徳田氏より



1. 鎌ヶ谷市消費生活センターを多くの市民に知らせ、その機能を更に充実、強化していきましょう。
2. 消費者被害に関する知識や情報を多くの市民に届けると共に、誰でも参加できる教育や学習の場を増やしていきましょう。
3. 行政と市民、市民どうしの多様なネットワークと連携の構築で、年代や傷害の有無に関わらず支援の必要な人たちを消費者被害から守りましょう。



提言書をもとに鎌ヶ谷市の消費者保護と消費者行政に取り組んでまいります

閉会あいさつ

中核地域支援センター シンポジウム実行委員 上谷豪氏
 困った時にだれかに言えるような住みやすい鎌ヶ谷市にしましょう！

